

ちしん盤

THE COMPASS



理事長挨拶

2018年度診療報酬改定と医療・介護連携



理事長
小松 眞史

皆様、こんにちは。いつも大変お世話になっております。

2018年度診療報酬改定は介護報酬とのダブル改定で、団塊の世代全員が後期高齢者となる2025年以降を見据えた改定とされています。特に注目は、今後生活の場としての地域社会の構築の際、基本となる地域包括ケアシステムを意識し、医療機関同士や介護施設との連携を重視している点です。このシステムにおいては、医療・介護・福祉の切れ目のない連携が重要です。当院は主に入院治療によるバックアップ機能、外来では救急と紹介患者を中心とした外来機能の充実が求められています。

一方、診療所ではかかりつけ医機能が評価されています。当院の再診は予約制ですが、患者数が多く予約時間を遵守できないこともしばしばで、苦情も少なからずあります。今後、病態によって患者さんを積極的に地域の診療所に紹介することが、患者さんの利便性の向上にも寄与すると考えております。

当院の2017年度の逆紹介率（当院から他の医療機関への紹介）は100%を超えていましたが、当院への紹介率は30%前後と苦戦しています。積極的な連携による紹介率の向上を期待しております。

当院は初期臨床研修病院です。今年も8人全員が無事2年間の初期臨床研修を終了致しました。このうちの4人と他の病院からの1人、計5人が今年度からの当院での専門医研修に進みます。若い医師の教育・育成に直接携わることが出来ます事は大きな責任感とともに望外の喜びでもあります。引き続き皆さまのご支援をお願いいたします。

地域医療連携室長就任挨拶



新地域医療連携室長 佐藤 勤

4月より地域医療連携を担当することになりました。限られた紙面ではありますが、簡単に抱負を述べたいと思います。少子高齢化、急速度で進む人口減少、医療従事者の減少など、秋田の医療を取り巻く環境は厳しさを増す中、医療機関の連携は極めて重要なポイントであり、その中心部署である地域連携室の果たす役割もますます重要になっています。当院でのここ数年をみても、認知症疾患医療センターの開設、入院支援の開始

など、様々な新しい業務が加わっております。地域医療連携室は言うまでもなく、他院や患者さんと自院とをつなぐ部署ですが、院外とよい連携をとるためには、院内連携がしっかりしていなくてはなりません。この点を見直していきたいと思います。また、秋田にはよいモノはあるが、売り込みが上手でないためなかなか陽の目をみないとはよく言われるところです。医療も同じで、せっかく質の良い医療を行っているのに、それが正しく伝えられず、市民・県民に役立っていないと思われるところもあります。その改善のための広報活動にも力を入れていきたいと考えています。関係する皆さまのご指導とご協力があるからこそ成り立つ部署であることを自覚しながら、意思疎通を何よりも大事にして、ともに連携を推し進めたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

骨粗鬆症にも地域医療連携を



副院長 木村 善明

整形外科を受診する方は膝痛や腰痛など何らかの疼痛を主訴として来院します。外来で診る多くの高齢者の膝痛の殆どは変形性膝関節症であり、患者さんの症状や希望を良く理解しながら治療方法を選択します。しかし一般的に自覚症状がなければ、変形が明らかであっても積極的な治療の対象にはなりません。これは腰痛の原因となる変形性脊椎症も同様です。

一方、自覚症状がなくても積極的に診断・治療に関わらなければならぬものが骨粗鬆症です。骨粗鬆症は自覚症状がないまま発症・進行し、脊椎圧迫骨折や大腿骨近位部骨折と

いった骨折が起きてから診断されるのが殆どです。

これらの骨粗鬆症性骨折は骨粗鬆症の最大の合併症であり、生命予後にも直結すること、初回骨折後も骨粗鬆症治療を行っていないければ次の骨折リスクが2~4倍に増えることがわかっています。従って急性期病院で骨折治療を行った後には、地域での骨粗鬆症治療の継続が極めて重要です。また閉経後の女性や生活習慣病を患っている中高年の方に骨粗鬆症検診を勧め、骨折を来す前に骨粗鬆症治療を開始し、初回骨折を予防しなければなりません。骨粗鬆症の治療・予防にも「医療連携体制に基づく地域完結型医療を実現する」ことが求められています。まずは当院で骨粗鬆症を精密に評価し、治療方針を定め、その後に皆様に治療継続をお願いする事になると思います。骨を守り、長く健康で自立できる社会を目指すために、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

看護部長就任挨拶



新看護部長 庄子 公子

みなさん、こんにちは。2年間、専従の医療安全管理者として活動して参りましたが、4月から看護部長として、約470名の看護部職員をまとめていく立場になりました。よろしくお願い申し上げます。

本年は、診療報酬と介護報酬が同時に改定され、これまで以上に地域との連携が重要性を増してきております。当院には、現在10名の認定看護師と今年度認定試験を受ける3名の看護師、各種団体で認定された資格を持っている看護師がおります。患者様だけでなく、人材の地域連携にも取り組んで参りたいと考えております。

また、高齢者が増加する中で、治療を行いながら、患者様に安全にその人らしく過ごしていただくことは、24時間患者様を看ている看護師が日々直面している課題ですが、安心して入院していただける環境作りのために努力をしております。さらに新病院における安全に過ごしていただける環境作りに日々奮闘しております。すてきなアイデアをお聞かせください。

前看護部長退任挨拶



前看護部長 吹谷 由美子

このたび3月31日をもちまして退職いたしました。病院との連携にご理解をいただき、常日頃支えご協力頂きました地域の医療機関の皆様には心から感謝申し上げます。

在職中は理事長が示した、良質な医療の提供による地域社会への貢献、それを支える良好な経営、職員が安心して意欲を持って働ける環境作りという3つのテーマに沿って参りました。とりわけ看護師の勤務状況の改善に力を注ぎ3交代夜勤から変則2交代の夜勤に変えることができました。そして、地域連携を強化するために、退院調整員としての看護師を配置し、入退院支援システムの構築を進めて参りました。

これからも「地域包括ケアシステムの構築=いつまでも住民が暮らせると(感じられる)まちづくり」のために情報を共有して連携が進む事を望みます。これからも市立秋田総合病院のみならず、看護部をよろしくお願いいたします。



第42回 地域医療連携の会 MINI LECTURE 抄録

AMRアクションプランと 抗菌剤適正使用の手引きについて

感染管理室長 市川 喜一



ペニシリンの発見者であるAlexander Fleming博士が1945年にノーベル医学生理学賞受賞講演で危惧した通り、近年抗菌剤をはじめとする抗微生物薬に対する耐性（anti microbial resistanceの頭文字をとってAMRと略称）が大きな問題となっています。背景には1990年代以降の新規抗菌剤の新規開発停滞があり、先進国での主な死因ががんや糖尿病など非感染性疾患に移行したこと、市場原理の中で抗菌剤の開発が進まない、などがその理由と考えられています。AMRは人獣共通感染においても問題となっています。家畜に対する抗菌剤の多用により、飼育されている牛や豚の約10～30%にMRSAが検出され、これらがヒトMRSAと交差した場合さらなる薬剤耐性を獲得する可能性があります。このままAMRが進行すると、抗微生物剤が開発される前の感染症で多くの死亡者がでる時代に逆戻りしてしまいかねません。

この危機的状況を受け、世界保健機構（以下WHO）は2011年に人・動物の垣根を超えた世界的規模での取り組み（ワンヘルスアプローチ）に基づく薬剤耐性への世界的な取り組みの推進を表明し、世界的な薬剤耐性の動向調査を経て2015年に「AMRに関するグローバルアクションプラン」を採択し、全加盟各国に2年以内の自国の行動計画の策定を求めました。そこで日本政府は翌年に戦略や具体的な取り組みが盛り込まれた以下の6項目からなるAMRアクションプランを策定しました。

- 1 普及啓発・教育
- 2 動向調査・監視
- 3 感染予防・管理
- 4 抗微生物薬の適正使用
- 5 研究開発・創薬
- 6 国際協力

そして、上記に基づき政府内で作業が行われ2017年に冊子「抗微生物薬適正使用の手引き」が作成されました（厚生労働省のAMRに関するホームページで無料ダウンロード可能）。外来診療の場で、基礎疾患のない成人と学童期以上の小児の急性上気道感染と急性下痢症において抗微生物薬使用が必要かの判断を支援する内容で、抗微生物薬不使用の場合、患者への説明方法も記載されています。本冊子の利用により、日本国内で使用の多い経口セファロスポリン、フルオロキノロン、マクロライド系薬剤の使用量半減を含む目標値のある抗菌剤使用量減少を目指しています。

感染症診療における薬剤耐性への対応は一部署、一医療機関で完結せず、多くの医療機関、保健機関、行政機関、さらには一般住民も含めた地域で一体となって取り組む必要があります。医療関係者は一般の方への啓蒙を行い、抗菌剤の不必要・不適正な使用を減らす努力をしていきましょう。



連携の会風景

退職医師 の紹介

(平成30年3月31日付)

- ◎精神科…………… 八木澤 究
- ◎泌尿器科…………… 今村専太郎
- ◎整形外科…………… 瀬川 豊人
- ◎皮膚科…………… 東海林 怜
- ◎泌尿器科…………… 小峰 直樹
- ◎麻酔科…………… 松田 光世
- ◎産婦人科…………… 菅原 多恵
- ◎乳腺・内分泌外科… 山口 歩子
- ◎糖尿病・代謝内科… 高橋 侑也
- ◎産婦人科…………… 藤島 綾香

新任採用医師紹介

(10名) 平成30年4月1日採用

①卒業大学・卒年 ②専門領域 ③認定医・専門医 ④自己紹介

<p>血液・腎臓内科 医長 篠原 良徳</p> <p>①秋田大学 2004年卒 ②血液内科 ③日本内科学会認定内科医 ④直近2年間は一般内科診療に従事していました。微力ではありますが、科内の先生方のご指導を仰ぎながら地域の血液疾患診療に貢献していきたいと思ひます。</p>	
<p>整形外科 医長 赤川 学</p> <p>①秋田大学 2011年卒 ②整形外科 ③日本整形外科学会専門医 ④4月から赴任した赤川です。自身がバスケをやっていたこともあり、スポーツ整形外科に興味があります。スポーツ外来も担当しますので、よろしくお願ひします。</p>	
<p>泌尿器科 医長 松田 芳教</p> <p>①秋田大学 2011年卒 ②泌尿器科 ③泌尿器科専門医 ④出身は秋田県象潟町で、初期研修は由利組合総合病院で行いました。その後秋田大学1年→平鹿総合病院1年→秋田大学3年と過ごしてきて、今年で医者8年目になります。</p>	
<p>産婦人科 医長 高橋 和江</p> <p>①秋田大学 2009年卒 ②産婦人科 ③産婦人科専門医 ④7年ぶりの市立病院勤務になります。至らぬ点が多々あると思ひますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。</p>	
<p>糖尿病・代謝内科 医員 阿部 咲子</p> <p>①弘前大学 2012年卒 ②糖尿病・代謝内科 ③日本内科学会認定内科医 ④糖尿病・内分泌分野で、地域医療の一助となれるよう研鑽を積んで参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>	

<p>皮膚科 医員 戸村 八蓉生</p> <p>①秋田大学 2013年卒 ②皮膚科 ③なし ④社会人大学院生として臨床と研究をやってきました。市立病院ではCommon Diseaseを勉強させていただき将来的には、実家の外来を手伝えるように成長できれぱと思ひます。</p>	
<p>臨床検査科 医員 多田 為久子</p> <p>①東北大学 1980年卒 ②血液学、老人医療 ③日本内科学会認定内科医 ④御場病院で約20年間、主に療養病床の患者さんを診てきました。この度縁あって検査科に勤務することとなりましたので、宜しくお願ひします。</p>	
<p>泌尿器科 医員 久保 恭平</p> <p>①秋田大学 2015年卒 ②泌尿器科 ③なし ④4月より市立秋田総合病院で泌尿器科として勤めさせて頂いております。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。</p>	
<p>泌尿器科 医員 中村 久美子</p> <p>①岩手医科大学 2013年卒 ②泌尿器科 ③なし ④今年度より新しく採用されました中村久美子です。患者さんの気持ちに寄り添った診療ができるよう、精一杯努めます。よろしくお願ひいたします。</p>	
<p>外科 医員 栗原 由騎</p> <p>①秋田大学 2016年卒 ②外科</p>	

1年次研修医紹介

(9名)

①卒業大学・卒年 ②抱負等

<p>1年次研修医 泉澤 沙弥香</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②念願の医師としてスタートをきることができ感無量です。社会に貢献できる医療人になれるよう日々邁進して行きたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。</p>	
<p>1年次研修医 猪股 拓海</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②市立秋田総合病院で初期研修をさせて頂いております。猪股拓海と申します。立派な医師になれるよう、日々勉強していきたいと思ひますので機会がございましたら、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。</p>	
<p>1年次研修医 工藤 千晶</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②はじめまして。1年目の工藤千晶と申します。毎日が期待と不安でいっぱいですが、勉強の姿勢を忘れず日々精進して参りますのでご指導のほどよろしくお願ひいたします。</p>	
<p>1年次研修医 小松田 恵理子</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②秋田市出身の小松田です。大学では軟式テニス部に所属していました。2年間でたくさんのご指導を頂き、充実した研修をしたいと考えています。ご指導のほどよろしくお願ひ致します。</p>	
<p>1年次研修医 佐々木 直人</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②地元秋田の医療に貢献できることを誇りに思っています。研修医らしく、明るく元気に、多くのことに挑戦していきたいです。先生方、よろしくお願ひ致します。</p>	

<p>1年次研修医 佐藤 晴香</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②秋田出身なので、地元である秋田のために精一杯頑張りたいと思ひます。先生方からご指導をいただきながら、2年間でたくさんのご指導を学びたいと思っております。よろしくお願ひ致します。</p>	
<p>1年次研修医 柴田 菜那</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②今は右も左も分からず教えていただくことばかりで迷惑をおかけするかと思ひますが、全ての経験が成長の糧にして毎日精一杯頑張りますので、御指導の程よろしくお願ひいたします。</p>	
<p>1年次研修医 村澤 映見佳</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②長かった学生生活を終えて、あっという間に入式を迎えました。これからは、人の命を預かる責任を強く感じます。憧れの先生方に少しでも早く近づけるよう尽力していきたいです。</p>	
<p>1年次研修医 藤田 美咲</p> <p>①秋田大学 2018年卒 ②医師として、また社会人としても新米の皆様にご迷惑をおかけするかと思ひますが、充実した研修となるよう積極的に学び、誠意を持って取り組んでいきます。ご指導の程よろしくお願ひ致します。</p>	

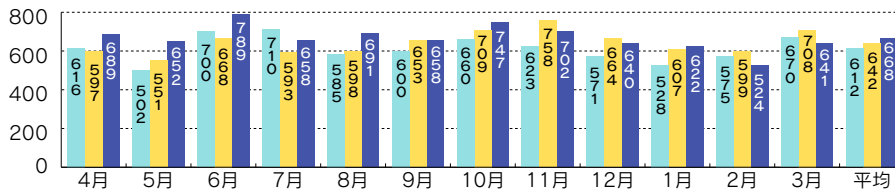


平成29年度 地域医療連携室実績報告

日頃、地域医療連携室を通じ多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。
平成29年度の実績がまとまりましたのでご報告いたします。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

1. 平成29年度紹介件数

◎月別紹介件数年度比較(27年~29年)

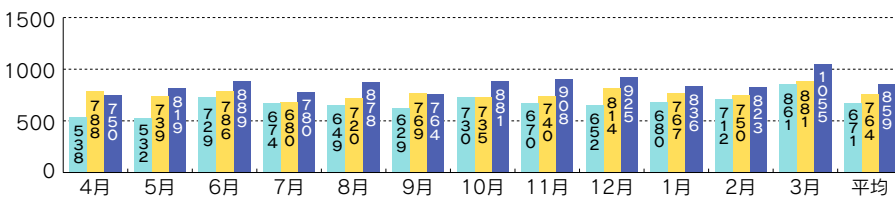


■ 27年度 ■ 28年度 ■ 29年度

年 度	紹介件数
平成29年度	8,013
平成28年度	7,705
平成27年度	7,340

2. 平成29年度逆紹介件数

◎月別逆紹介件数年度比較(27年~29年)

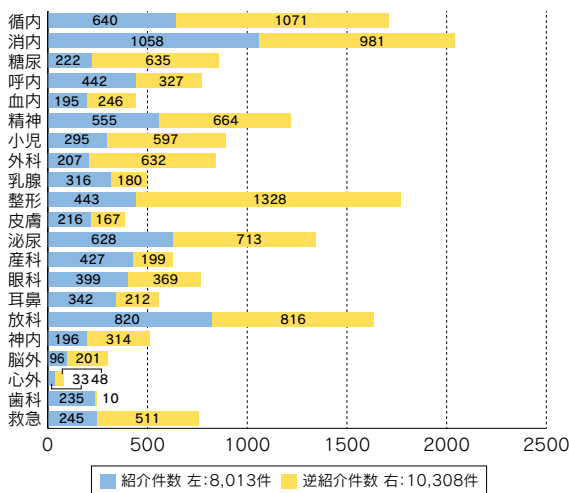


■ 27年度 ■ 28年度 ■ 29年度

年 度	逆紹介件数
平成29年度	10,308
平成28年度	9,169
平成27年度	8,056

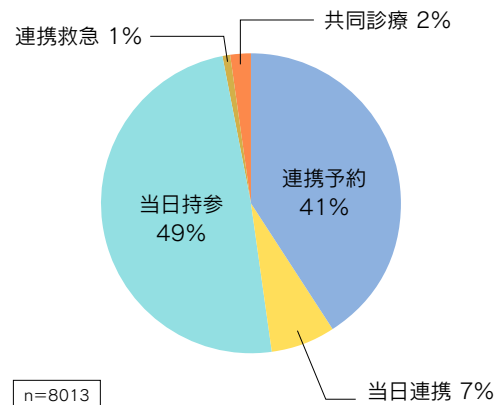
3. 平成29年度診療科別紹介・逆紹介件数

◎平成29年度 診療科別 紹介・逆紹介件数



4. 平成29年度経路別紹介患者割合

◎平成29年度 経路別紹介患者割合



地域医療連携室の紹介

新年度、社会福祉士2名が新たなメンバーに加わり、連携業務の更なる強化に努めることとしております。
今後ともご指導よろしくお願い致します。



市立秋田総合病院 外来各科担当医一覧表 (平成30年5月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	1	中川 正康	中川 正康	中川 正康	藤原 敏弥	中川 正康
	2	柴原 徹	藤原 敏弥	藤原 敏弥	柴原 徹	柴原 徹
	3	長谷川 仁志	小坂 俊光	新保 麻衣	加藤 宗	長谷川 仁志
	4	藤原 美貴子	島田/安部/若林	藤原 美貴子	島田/安部/若林	藤原 美貴子
	5	安部/若林	島田/安部/若林	島田/安部/若林	中川 正康	島田/安部/若林
消化器内科	1	千葉 満郎	津田 聡子	渡邊 健太	小原 優	千葉 満郎
	2	中根 邦夫		中根 邦夫	大野 秀雄	中根 邦夫
	3	石井 元	辻 剛俊	辻 剛俊		
	4		小松 眞史	小松 眞史	小松 眞史	津田 聡子
	内視鏡(胃)	大野/渡邊/辻/小原	中根(隔週)/石井(隔週)/渡邊	石井/津田(隔週)/大野	中根/津田/辻/渡邊	辻/大野/石井/小原
	内視鏡(大腸)	辻/大野/小原	中根/石井/渡邊/小原	大野/津田/中根	渡邊/辻/小原	辻/石井/大野/小原
糖尿病・代謝内科	1	三浦 岳史	三浦 岳史	細葉 美穂子	三浦 岳史	三浦 岳史
	2	阿部 咲子	細葉 美穂子	阿部 咲子	細葉 美穂子	阿部 咲子
呼吸器内科	新患	奥田 祐道	熊谷 奈保	伊藤 伸朗	伊藤 武史	泉谷 有可
	再来	伊藤 武史	伊藤 武史	伊藤 武史	伊藤 伸朗	伊藤 伸朗
	再来	本間 光信	伊藤 伸朗	佐野 正明	本間 光信	本間 光信
	呼吸リハ SAS				塩谷 隆信(午後) 伊藤 伸朗(午前)	
血液・腎臓内科	1	市川 喜一	篠原 良徳	市川 喜一	市川 喜一	篠原 良徳
	2	篠原 良徳	中山 豊		中山 豊	中山 豊
	3	政井 理恵		政井 理恵		政井 理恵
精神科	新患	水俣 健一/内藤 信吾	内藤 信吾	加藤 信之	佐々木 諒	竹越 結生
	再来	内藤 信吾	水俣 健一	水俣 健一	内藤 信吾	加藤 信之
		加藤 信之	佐々木 諒	内藤 信吾	加藤 信之	佐々木 諒
小児科	1午後(一般)	池田 史圭	池田 史圭	池田 史圭	池田 史圭	池田 史圭
	2	河村/米山/高橋/武田(隔週)	武田 修	高橋 まや	河村 正成	米山 法子
	3	小泉 ひろみ	小泉 ひろみ	小泉 ひろみ	小泉 ひろみ	小泉 ひろみ
	午後(特殊)	アレルギー	乳児健診	1ヶ月健診	腎臓(第4木曜)/ 予防接種(第4木曜以外)	小児心臓 (第3金曜)
外科	1	菊地 功	太田 栄	太田 栄	若林 俊樹	新保 知規
	2	木村 友昌	佐藤 勤	栗原 由騎	佐藤 勤	林 海斗
	3	伊藤 誠司			菊地 功	堀江 美里
乳分泌外科	1		片寄 喜久	片寄 喜久 伊藤 誠司		片寄 喜久
整形外科 (受付は10時まで)	新患1	木村 善明	若林 育子	本郷 道生(予約のみ)	柏倉 剛	赤川 学
	再来2	若林 育子	柏倉 剛	野坂 光司(予約のみ)	木村 善明	若林 育子
	再来3	野坂 光司(最終月曜のみ)	赤川 学		赤川 学	木村 善明/柏倉 剛
皮膚科	1	小関 史朗	小関 史朗	小関 史朗	小関 史朗	小関 史朗
	2	戸村 八蓉生	戸村 八蓉生	戸村 八蓉生	戸村 八蓉生	戸村 八蓉生
	午後(春・夏・冬休み 期間中は休診)			小関 史朗/戸村 八蓉生		小関 史朗/戸村 八蓉生
泌尿器科	1	石田 俊哉	前野 淳	石田 俊哉	中村 久美子	石田 俊哉
	2	松田 芳教	三浦 喜子	久保 恭平	里吉 清文	三浦 喜子
	3	前野 淳	里吉 清文	松田 芳教	富樫 寿文	前野 淳
	4	里吉 清文	中村 久美子	三浦 喜子	石田 俊哉	久保 恭平
産婦人科	1	高橋 道	高橋 道	高橋 道	高橋 道	福田 淳
	2	高橋 和江	福田 淳	軽部 裕子	五十嵐 なつみ	軽部 裕子
	産科	五十嵐 なつみ	高橋 和江	五十嵐 なつみ	福田 淳	高橋 和江
眼科	1	阿部 早苗	阿部 早苗	太田 悠介	齊藤 裕輔	阿部 早苗
	2				阿部 早苗	
	午後	(予約患者のみ)	(予約患者のみ)			齋藤/阿部(網膜硝子体外来)
耳鼻咽喉科	1	工藤 和夫	工藤 和夫	工藤 和夫	(工藤 和夫)	工藤 和夫(10時30分まで)
	2	高橋 雅史	高橋 雅史	高橋 雅史	高橋 雅史	高橋 雅史(予約のみ)
放射線科		平野 義則	平野 義則	平野 義則	平野 義則	平野 義則
麻酔科	火・金のみ		佐藤 ワカナ			長崎 剛
リハビリ					若林 育子	
神経内科	1	大川 聡	大川 聡	大川 聡	あきた病院医師(午後)	大川 聡
	2	深谷 浩史	市川 大	深谷 浩史		市川 大
脳神経外科		田村 晋也	脳研医師	田村 晋也	田村 晋也	田村 晋也
心臓血管外科	火・金午後のみ		星野 良平			星野 良平
歯科・口腔外科		田原 孝之	田原 孝之	田原 孝之	田原 孝之	田原 孝之

* 医師の異動や手術等により内容に変更が生じることがあります。